

2020 10/15 きらり伏見

市民しんぶん伏見区版



低炭素社会の実現に向けて、
ご来庁の際は公共交通機関の
ご利用をお願いします。

伏見区ホームページアドレス <https://www.city.kyoto.lg.jp/fushimi/>

新型コロナウイルス感染防止のため、新しい生活様式(人との間隔の確保、マスク着用、発熱時(37.5℃以上)の外出自粛、手洗いなど)の徹底を!
※本紙に掲載の内容は、今後、予告なく変更になる場合があります。

区役所・支所等の各種申請は、郵送による手続きが可能な場合がありますので、問合せ先にご確認を!



京都の伝統産業
Traditional Industries of Kyoto

伏見に息づく伝統産業

～「京都市伝統産業活性化推進条例」施行15周年～

1200年を超える悠久の歴史を有する京都。その生活文化には、伝統的な技術と原材料を使った手づくりの温もりを持つ工芸品などが深く関わり、暮らしを彩ってきました。京都市では平成17年10月に「京都市伝統産業活性化推進条例」を施行し、現在、74の伝統産業品目を選定しています。

その中には、清酒をはじめ、和蠟燭、京うちわ、京菓子、かるた、京瓦、造園など、伏見に縁の深い多彩な伝統産業も含まれています。そんな伏見の奥深い伝統産業の世界に目を向けてみませんか。



伏見の伝統産業を知って、使っていたきたい

私は伏見区竹田の和ろうそく店の4代目です。和ろうそくをはじめ、伝統工芸品はもともと各家庭の日々の暮らしと密接にかかわる身近なものでした。ただ、生活様式の変化や安価な工業製品の普及などで、縁遠い、普段目にしない存在「になつて」るのを危惧しています。

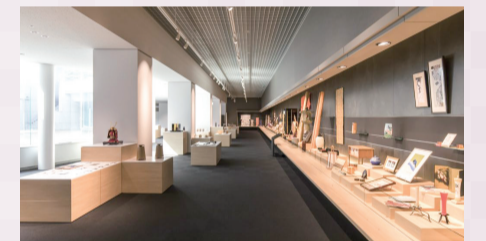
私は職人なので、和ろうそく作りが本業。ただ、今は作って展示するだけではだめで、「この品は、こう作って、こう使う方があります。」という提案が必要。例えば、灯りでもLED電球と和ろうそく、洋ロソクでは空間を包む雰囲気それぞれ違ってきます。こんなときこそ、そんな「違い」を知ってもらい、時々で最適な使い分けをしていただきたい。それを伝えるのが我々の使命だと思います。

和ろうそく職人・和繫ぎびと 田川 広一

知る

京都伝統産業ミュージアム(左京区岡崎成勝寺町9-1)では、京の歴史と文化を伝える多種多様な伝統産業製品74品目の作品に加え、歴史や制作工程などの展示を通して、奥深い伝統工芸の世界を紹介しています。(入場無料)

開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)
問合せ 同ミュージアム ☎762-2670



購入

厳選した京都の伝統工芸品専門のオンラインショップ「京もの専門店みやび」。自分のお気に入りの逸品を探してみてください。



問合せ 市クリエイティブ産業振興室 ☎222-3337、伏見区役所企画担当 ☎611-1295

京都市 伝統産業 検索



令和2年度「伏見連続講座」開講中!

受講料無料

今年度の講座の
予定はこちら!



の申込みは、京都いつでもコール(3面上部参照)へ。
※各問合せ先の電話受付時間は平日9時～17時。

地域団体や大学との連携による「伏見連続講座—ふれて、して、みて伏見—」を開講。
※講座実施についての最新状況は区ホームページでお知らせ。

問合せ 伏見区役所企画担当 ☎611-1295

日時	内容・講師等	場所	定員等	問合せ
11月21日(土) 9時30分～11時30分	歴史街道ウォーキング「深草地域の天津街道」 西福寺～即成就院址～久宝寺町～七瀬川～谷口町～大岩山入口 講師 伊藤 英夫氏(元京都SKY観光ガイド協会)	藤森神社 正面鳥居前 (集合)	20名(先着順) 申込期間 10月20日～11月6日	深草古絵図プロジェクト (杉田 ☎090-2355-5486)
12月14日(月) 15時～16時30分	伏見を含む関西圏のコロナ禍と防災・減災 講師 奥村 与志弘氏(関西大学准教授)	伏見区役所 1階ホール	50名(先着順) 申込期間 10月20日～11月22日	伏見の防災を考える会 (小池 ☎601-1304)